



# 福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 伝統的民家の価値を所有者自身が知らない、住み続けるには改修費用が大きく取り壊しが進行。また、観光客や移住者を呼び込む、福井らしい、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためにも、伝統的民家の保存による美しい集落や町並み景観の維持・保全への継続した支援が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県内の伝統的民家数約5,400棟 ・北国街道今庄宿(H23推進地区指定、13件の伝統的民家改修支援)が、令和3年度、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。						
[事業目的] 福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。												
[事業内容] (1)伝統的民家群保存活用推進地区(以下、推進地区)内での景観づくりに対する補助 ①伝統的民家の新築:外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内(限度額800千円) ②伝統的民家や土蔵、門、塀の改修:外観、構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,500千円) ③伝統的民家の空き家の活用:地域の活性化に資する施設に改修するための、外観、構造体および内部の改修工事に補助する市町に対し、交流施設、文化施設、体験学習施設の場合、市町事業費または補助額の1/2以内(限度額3,000千円) 民間事業施設の場合、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額3,000千円) ④景観づくり活動:街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し、市町補助額の10/10(限度額200千円 地区指定後2年間のみ) (2)ふくい棟梁講座(伝統工法の実技実習および講習)の支援((一社)福井県建築組合連合会) 対象経費の1/2以内(限度額500千円) (3)福井の伝統的民家認定表札加工および普及PRリーフレット作成 (4)福井の伝統的民家の普及啓発活動(日常の維持管理に関する講習会の開催)												
[受益者] 伝統的民家所有者等						[想定される受益者数] 約5,400棟(県内の伝統的民家数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担) ・福井の歴史的建造物保存促進事業 ・福井の歴史的建造物の改修等に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 ・指定文化財の修理に対する支援					
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況	石川県、富山県はなし [新潟県] ふるさと古民家再生事業 築後概ね50年経過した住宅の再生に係る設計及び工事管理に要する費用に対して、1/2を補助(1,000千円限度) (~H29まで実施)					

## 福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			21 年
補助率	1/2等											21 年			21 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	14,762					14,762									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		21,190	18,802	18,802	12,802	14,762	市町要望額、近年の実績件数を考慮。								
2月現計予算額の推移		12,860	10,102	9,899	9,452										
決算額の推移		12,104	9,733	9,135											
前年度までの 主な増減理由		伝統的民家の改修等の件数は年々減少傾向にあり、過去実績、市町の要望に合わせて予算を編成													
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	改修事業件数	(目標)	(20)	(18)	(16)	(12)	(12)	(12)	12件/年の改修(市町要望および近年の改修実績による)						
		実績	15	11	11	11									
活動指標	推進地区指定数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2地区/年の指定						
		実績	2	2	2										
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
・令和5年度、伝統的民家改修等を11件支援 ・令和5年度、伝統的民家群保存活用推進地区を1地区指定				・過去5年の実績と市町要望を考慮し、12件/年の改修費用を計上。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

# 福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 地域の風景を維持し、観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、地域の核となる歴史的建造物を保存・活用することが必要						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の歴史的建造物 485棟(福井の歴史的建造物)						
[事業目的] 市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。												
[事業内容] (1)歴史的建造物のうち登録有形文化財建造物 外観および公開範囲の内装に関わる部位の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費から国費補助相当額を差し引いた額の1/2以内(補助限度額1,500千円)を補助 (2)上記以外の歴史的建造物(指定文化財を除く) 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(補助限度額1,500千円)を補助  【福井の歴史的建造物とは】 (平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介) 原則として第二次世界大戦終結時までに建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街並みおよび景観の整備に貢献するもの												
[受益者] 歴史的建造物所有者(管理者)						[想定される受益者数] 485棟(福井の歴史的建造物)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 (役割分担) ・福井の伝統的民家活用推進事業 ・福井の伝統的民家の改修等及び景観づくり活動に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 ・指定文化財の修理に対する支援				
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、歴史的建造物の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況		石川県、富山県はなし [佐賀県] 佐賀県遺産支援事業 佐賀県遺産に認定された建造物の外観保全に対し、対象経費1/2を補助(5,000千円限度)				

## 福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2等													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	500					500								
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,500	2,500	2,500	2,000	500	市町要望による予算額の減額							
2月現計予算額の推移		1,000	1,500	1,418	630									
決算額の推移		822	1,356	1,418										
前年度までの 主な増減理由	市町の要望による													
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修等事業件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件/年の改修					
		実績	1	3	2	2								
活動指標	補助事業者数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件市町/年の改修					
		実績	1	3	2	2								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・改修実績2件(R5)				市町要望により、1件分の予算を計上				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3~1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ]		政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]		関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
新幹線開業にあたって、福井の美しい風景を景観資源として、開業後も継続して福井の景観のレベルアップを図り、観光客の満足度を高め、にぎわいづくりを図っていく必要がある。						じゃらん観光国内宿泊旅行調査2024において、宿泊旅行の目的として、「花見や紅葉などの自然景観」が回答者の8.0%(全国平均10.7%)、「まちあるき、都市散策」が9.4%(全国平均18.7%)と、風景や景観が観光資源となりえていない。						
[事業目的]												
街道沿いの歴史的町並みや田園集落、文化財周辺の町並みなど、福井の特徴である歴史・文化景観のさらなる維持・向上を図る景観づくりは、県民にとって地元福井への誇りにつながり、また、新幹線開業にあたり景観自体を歴史文化観光資源とすることで誘客にもつながるものである。市町に対する支援を行うことで、将来的な重要伝統的建造物群保存地区等の国の選定地域の増加も視野に入れつつ、地域の特徴を生かした景観まちづくりを推進する。												
[事業内容]												
○市町の景観まちづくり支援 市町の景観計画策定・改訂事業や、特定の地域(伝統的民家群保存活用推進地区や日本遺産構成文化財周辺等)での修景、広場やサイン整備、景観づくり活動に補助 ・市町の景観まちづくりの方針策定等(景観計画や景観ガイドライン等の策定・改訂事業費の1/2) ・特定の地域かつ景観形成重点地区における、民間が行う建築物の外観、外構、看板等の修景工事(補助対象工事費の1/4、市町補助の1/2、上限150万円/件) ・特定の地域における、広場の整備、駐車場の修景、案内サインの設置・修景、ライトアップ事業等(工事費の1/2、上限200万円) ・特定の地域における、NPOや住民団体等による景観づくり活動(補助対象経費の1/3、市町補助の1/2、上限20万円)												
○重要文化的景観保存活用推進事業 「越前海岸の水仙畑の文化的景観」について、各市町および福井市・越前町・南越前町が主体の協議会が実施する景観向上事業や魅力発信事業を支援(補助率:対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2)												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業 (実績)  広域景観軸6軸において、26カ所の視点場を整備					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
	市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況		市町への修景補助制度があるのは8県			

## 景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度		
事業実施方法	補助													
補助率	1/3~1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	20,800					20,800								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			14,065	26,624	10,623	20,300	20,800	市町要望による増						
2月現計予算額の推移			11,265	26,624	7,022	10,460								
決算額の推移			11,126	26,240	6,786									
前年度までの 主な増減理由	※R元~4は「福井ふるさと広域景観形成事業」の予算額推移													
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	宿泊旅行の目的(じゃらん宿泊旅行調査)「まちあるき・都市散策」	(目標) 実績		12	(12%) 9	(13%)	(13%)	(15%)	(18.9%)	町並み景観が観光資源となり、満足度が向上されているか (2022年度9.1%→10年で全国平均18.9%まで高める)				
活動指標	新規重点地区設定市町数	(目標) 実績						(1)	(2)	面的な景観形成を図るための重点地区設定市町数の増加 (国:R元年度347→R7年度450 に合わせ、県:R5年度8→R9年度10)				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・令和5年度 連携協議会において実施された3事業(ローカルフォトプロジェクト、映像制作、景観の守り人育成)を支援				・市町要望増、成果指標を加速的に達成させる必要があることによる増額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 福井の風景活用発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
雄大な自然や歴史的な建物、素朴な暮らしを感じる町並など、「福井ふるさと百景」に代表される福井の風景のすばらしさが県内外に発信されていない						県内の観光地を紹介する映像は数多く掲載されているが、景観を発信する映像や画像については、県観光連盟のHPやフィルムコミッションのHPにも掲載されていない。						
[事業目的]												
雄大な自然や歴史的な建物、素朴な暮らしを感じる町並など、「福井ふるさと百景」に代表される福井の風景のすばらしさを県内外に広く発信したい。そこで、福井の風景の映像や写真を撮影し県内外へ情報発信するとともに、映画やYoutube等で活用してもらうことで、福井の風景の広い認知につなげる。												
[事業内容]												
(1)ワンシーン映像、ドローン映像、風景映像、スチール写真の撮影												
(2)風景素材のフリー素材化												
(3)福井の風景情報発信												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担)  福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観 づくり活動団体等を支援					
市町との連携状況						他県の状況						

# 福井の風景活用発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					5,748		県内17市町での風景素材の撮影が完了。以降はフィルムコミッション等での発信を予定								
2月現計予算額の推移					5,748										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	風景素材の活用 (目標) 実績							(2)	TV番組や商用での活用(県への報告を求める活用) 2件(令和8年度時点)						
活動指標	風景素材の撮影 (目標) 実績				(10) 17			(17)	県内17市町での撮影						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
委託業者による県内17市町での撮影 ・プロモーションドラマ 2本 ・風景映像 3本 ・風景写真 59枚(予定)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,748				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 福井ふるさと百景活用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]  福井には美しい景観が数多くあるが、それらを守っていく地域の担い手不足や資金不足等で、景観づくりが低迷している。また、景観を眺望する視点場の数も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ]  ・景観保全活動団体数 65団体 ・視点場整備数 20箇所(とやま眺望点:30箇所)						
[事業目的]  福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するなど、地域とともに景観づくりを推進する。												
[事業内容] (1)景観づくり活動団体に対する補助 ・百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助 【補助率】10/10(補助上限額 200千円/年) 【事業期間】2年間 【補助対象】地域団体: 3団体 (2)ふるさと福井景観づくり懇談会の開催 ・学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 景観まちづくり推進事業 (役割分担)  方針策定や建造物の修景、整備工事等、市町が実施する景観まちづくり事業に対する支援					
市町との連携状況	活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通じて補助を実施				他県の状況		○普及・啓発 石川県…いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県…景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 ○審査会等 石川県、富山県…景観審議会を設置					

## 福井ふるさと百景活用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額																
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		3,120	3,627	1,395	699		景観づくり活動団体の補助期間が終了したため									
2月現計予算額の推移		2,850	2,627	1,395	699											
決算額の推移		1,698	2,036	1,194												
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度は、ガイドブック改訂による増額</li> <li>・R2年度は、景観セミナー休止による減額</li> <li>・R4年度は、フォトコンテスト実施による増額</li> <li>・R5年度は、ガイドブック販売委託およびフォトコンテストの終了による減額</li> <li>・R6年度は、補助団体の減による減額</li> </ul>														
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	新たな景観づくり活動に 取り組む団体数	(目標) (3)	(3)	-	-				団体認定は令和4年度で完了							
		実績 3	3	-	-											
活動指標	ビューポイント整備箇所数	(目標) (1)	-	-	-				ビューポイント整備は令和3年度で完了							
		実績 1	-	-	-											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
令和4年度:景観づくり活動団体を3団体認定 補助金を8団体に交付 令和5年度:補助金を6団体に交付 令和6年度:補助金を3団体に交付(見込み)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額  699					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 福井特有の文化の一つである福井の方言が、若い世代ではあまり使われていなくなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 方言の好感度 福井県:20%、石川県:47%、富山県:30% 観光客が感じる地元のホスピタリティ 福井県45位						
[事業目的] 県民が福井の方言の面白さを再認識し、方言のさらなる利用を促進するため、県民参加型のコンテスト等を実施する。また、投稿された動画を、県内外を問わず広く発信し、福井県のPRを行うことで、北陸新幹線開業後のさらなる誘客につなげる。												
[事業内容] (1)第2回方言動画コンテストの実施 「福井県”おもてなし担当”知事」の津田寛治氏を審査委員長とし、「第2回方言動画コンテスト」を開催 優秀作品は、「しあわせを呼ぶ福井の方言」HP等で公開  (2)方言カードの増刷												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けたふくいブーム創出事業 (実績) 映画製作、方言デザインコンペ開催、高校生による方言辞典制作等					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

# 福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法		直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率		—					□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	3,938				3,938										
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				6,121	3,925	3,938									
2月現計予算額の推移				6,121	3,925										
決算額の推移				6,119											
前年度までの 主な増減理由		・R6年度 事業内容による減額													
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和7年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)						
活動指標	方言コンテスト参加者数 (人)	(目標) 実績			(25) 26	(40)			方言コンテストへ動画を応募した人数						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価							
・方言動画コンテストの開催 ・「しあわせを呼ぶ福井の方言」HPIに方言音声4件、方言動画4件(予定)を追加								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								■ 継続	□ 休止	□ 完了					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

## 地域の伝統行事活動支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]					
[解決すべき問題・課題] 地域の伝統行事など個性豊かな地域の文化は、次世代に継承していくべき県民共通の財産であるが、少子高齢化や過疎化等を要因とした担い手不足により、保存・継承が危惧されている。						[問題・課題を表す客観的データ] R3アンケート調査結果より、約8割の実施団体で、高齢化や担い手不足を要因として十分な行事ができていないと回答						
[事業目的] 担い手の確保のためには、地域の伝統行事が注目され活性化されること、さらには観光誘客効果等により資金的にも潤うことが重要であると考えられるため、各地域の実情に応じた活性化策、観光活用等の取組への支援を行う。												
[事業内容] ○地域で行われるお祭り等の支援 ・例年以上の新たな活性化策、観光活用等の方策 例：祭礼への参加体験、稽古場公開およびツアー造成 関連グッズや料理メニューの開発、製作 動画リアルタイム配信システムの開発 全国の他のお祭りとの交流促進等 ・福井県無形民俗文化財保護協議会(55団体加盟)が設立されている国・県指定無形民俗文化財を対象 ただし市町指定無形文化財で、文化財保存活用地域計画で位置づけがあるものも、1件/1自治体まで対象 ・専門家による事業内容、事業実施体制等へのコーチング(改善指導)が義務 ・補助対象経費の1/3												
[受益者] 福井県無形民俗文化財保護協議会の加盟団体						[想定される受益者数] 55団体						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 無形民俗文化財活動支援事業(生涯学習・文化財課) (役割分担)  伝統行事等の道具修繕や通常の公演経費等について補助				
市町との連携状況						他県の状況						

## 地域の伝統行事活動支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度	
事業実施方法	直営、補助											R7 年度 経過年数			1 年
補助率	1/3											1 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,400	2,200			2,200	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						4,400	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金								
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光活用お祭り数	(目標) 実績				(1)		(3)	観光ツアー造成、他県のお祭りとの交流など、他県からの誘客に繋がる取り組みを継続的に実施するお祭りの数						
活動指標	支援団体数	(目標) 実績				(3)		(9)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 「越前鳥の子紙」魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
「越前鳥の子紙」が福井県内で初めて、ユネスコ無形文化遺産に登録される見込みであることを受け、その魅力を県内外に発信する必要がある。						令和7年11月頃に、ユネスコ無形文化遺産「和紙 日本の手漉和紙技術」に、「越前鳥の子紙」が追加登録される見込みである。						
[事業目的]												
令和7年11月に「越前鳥の子紙」がユネスコの無形文化遺産に追加登録される見込みであるため、そのことを契機として越前市と共同して越前和紙の魅力発信を行う。												
[事業内容]												
(1)福井駅東ロイイベントスペースでの登録記念展 ・鳥の子紙の展示や実演、製法のパネル展示等を行い、県民に鳥の子紙および越前和紙全体の素晴らしさを理解いただく												
[受益者] 県外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況	・越前市と共同して魅力発信を行う					他県の状況						

## 「越前鳥の子紙」魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,000	2,000			2,000	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							4,000					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績					(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)		
活動指標	記念展開催回数	(目標) 実績					(1)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題]  街の中に文化芸術に触れる空間が少なく、文化活動の発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ]  鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的]  まちなかで誰もが文化芸術活動を発表できるステージの設置を支援し、誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を増やし、まちなかの賑わいを創出する。												
[事業内容] (1)まちなかステージの設置・運営支援 音楽やダンス、演劇、アートなど、様々なジャンルの文化芸術活動発表のため、学生、プロ・アマ問わず、誰もが利用できる簡易な「まちなかステージ」の設置・運営を支援(初年度の経費を支援し、2年目以降は自立化)  <設置場所> ・R3:1ヶ所[福井市]ハピテラス(月1回) ・R4:2ヶ所[大野市]COCONOアートプレイス(3か月に1回)、[敦賀市]国道8号線歩行空間(月1回) ・R5:3ヶ所[あわら市]アフレア(毎月1回)、[越前市]武生中央公園(2か月に1回)、[勝山市]道の駅恐竜溪谷かつやま(3ヶ月に1回) ・R6:2ヶ所[坂井市]三国駅前広場(3か月に1回)、[おおい町]SEE SEA PARK(3ヶ月に1回) ・R7:3ヶ所 道の駅、賑わい交流施設等へ設置予定												
[受益者] 文化芸術活動を発表したい個人・団体						[想定される受益者数] 約1,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

## みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7	年度
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)											R3	年度			
補助率												5	年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,803				5,803											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			11,097	9,753	5,803	5,803										
2月現計予算額の推移		6,500	6,539	7,819	5,803											
決算額の推移		5,000	6,496	7,819												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 令和3年度当初予算を令和2年度補正予算に前倒し</li> <li>・令和5年度 ストリートカルチャーフェス開催費支援の減(1/2支援→1/3支援)</li> <li>・令和6年度 ストリートカルチャーフェス開催費支援終了</li> </ul>															
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	ステージ利用者数	(目標) (50)	(110)	(110)	(110)	(200)	(200)	(200)	まちなかステージの出演者数							
		実績 67	91	581	156											
活動指標	看板、ステージの制作	(目標) (3)	(4)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	ステージ設置数							
		実績 3	2	3	2											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価						
・坂井市、おおい町において、新たにまちなかステージを設置。 オープニングイベントには多くの文化団体・個人が出演して、 成果指標のステージ利用者数を目標どおり達成。										□	拡充	□	縮減	□	終期の見直し	見直し額
										■	継続	□	休止	□	完了	
										□	整理統合	□	廃止	□	その他	

## 音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] これまでの文化芸術活動は、ホールなど施設の中での発表・鑑賞が中心であり、広く一般に享受されてこなかった。音楽を活用したコミュニティを形成することにより、文化芸術に親しむ環境が必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。												
[事業内容] (1)音楽を始めたいアマチュアプレイヤーの発掘と仲間づくりを支援 ・年齢や障がいの有無に関わらず楽しめるドラムサークル活動を通じて、幅広い年代に音楽の楽しさを実感してもらう ・全県下の婦人会の推進員が、音楽に興味のあるアマチュアプレイヤーを掘り起こす  (2)市町ホールを拠点とする音楽サークルの運営支援 ・令和3年度から住民交流や市町のホール利用促進のため、7市町で設立した音楽サークルの運営 (①鯖江市:吹奏楽、②越前市:ラテン、③美浜町:軽音楽、④若狭町:ウクレレ、⑤永平寺町:ギター、⑥小浜市:フルート、⑦坂井市:ギター) ・7市町の音楽サークル合同での成果発表会(ジョイントコンサート)を企画・運営												
[受益者] 音楽活動に興味のある県民						[想定される受益者数] 約500人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16 R17 R18 R19 R20 R21 R22 R23 R24 R25 R26 R27 R28 R29 R30 R31 R32 R33 R34 R35 R36 R37 R38 R39 R40 R41 R42 R43 R44 R45 R46 R47 R48 R49 R50 R51 R52 R53 R54 R55 R56 R57 R58 R59 R60 R61 R62 R63 R64 R65 R66 R67 R68 R69 R70 R71 R72 R73 R74 R75 R76 R77 R78 R79 R80 R81 R82 R83 R84 R85 R86 R87 R88 R89 R90 R91 R92 R93 R94 R95 R96 R97 R98 R99 R100	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)												□ 補助金	□ その他	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16 R17 R18 R19 R20 R21 R22 R23 R24 R25 R26 R27 R28 R29 R30 R31 R32 R33 R34 R35 R36 R37 R38 R39 R40 R41 R42 R43 R44 R45 R46 R47 R48 R49 R50 R51 R52 R53 R54 R55 R56 R57 R58 R59 R60 R61 R62 R63 R64 R65 R66 R67 R68 R69 R70 R71 R72 R73 R74 R75 R76 R77 R78 R79 R80 R81 R82 R83 R84 R85 R86 R87 R88 R89 R90 R91 R92 R93 R94 R95 R96 R97 R98 R99 R100
補助率													□ 法定受託事務	□ その他	事業開始年度
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	11,344				11,344										
[予算額の推移等] (単位:千円)															
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移	21,000	28,160	25,054	17,028	11,344	・音楽サークルの自立に伴う、運営費用の減(1市町自立)									
2月現計予算額の推移	21,000	23,320	44,621	17,028											
決算額の推移	20,582	23,320	44,621												
前年度までの 主な増減理由	令和4年度 市町ホールを拠点とするアマチュア楽団・バンド等の追加設立による増 令和5年度 楽器体験会の回数を減、仲間づくり支援団体数を減 令和6年度 音楽サークルの自立に伴う運営費用の減(4市町自立)														
[成果指標等の推移]															
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	サークル参加者数	(目標) 実績	(50) 40	(70) 139	(70) 165	(70) 166	(70)	(70)	音楽活動を開始した県民数 10人×サークル数						
活動指標	団体設立数	(目標) 実績	(5) 4	(7) 5	(7) 7	(7) 7	(7)	(7)	アマチュア音楽サークルの設立						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
・令和6年3月に開催した成果発表会では6市町の音楽サークルが一堂に会し、100名を超える音楽プレイヤーの発表と交流の場となった。 ・3市町の音楽サークルの運営を支援するとともに、自立した4市町の音楽サークルの相談対応を行うことで、成果指標のサークル参加者数を目標どおり達成。				・設置から3年経過した1市町の音楽サークルが自立するとともに、自立に向け2市町の音楽サークルを支援。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	5,684				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

## ふくいの文化芸術創造発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ]	政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]	関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、障がい、国籍等に関わらず誰もが文化芸術に参加できる環境が不十分</li> <li>・子どもたちが文化芸術に触れる機会が不十分</li> <li>・文化芸術活動に対する企業の応援が不十分</li> </ul>						鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的]												
令和6年4月に策定した「福井県文化振興プラン」に基づき、本県の文化芸術活動を持続的・発展的なものとするため、「ふくい文化創造センター(仮称)」を県文化振興事業団に令和7年4月に設置して、文化団体への支援や人材育成、文化芸術活動実践者とのネットワークを充実させる。												
[事業内容]												
(1)アーツカウンシル機能の構築 16,742千円 文化芸術に知見を持つ専門スタッフを県文化振興事業団に配置し、アーツカウンシル機能を構築する。 (2)文化で織りなす共生社会実現プロジェクト 6,115千円 文化芸術活動を通して、障がい者、高齢者など多様な方々との共生社会の実現を目指す。 (3)企業の文化芸術に関するCSR活動促進プロジェクト 3,125千円 文化芸術に関するCSR活動の意義や効果について県内企業の理解を促進し、取り組む企業を増やす。 (4)アートプロジェクトによる文化芸術創造事業 41,160千円 地域の文化資源を活用して実施する地域の魅力向上および地域の課題解決に寄与する文化芸術事業に助成金を支給。 (5)子ども文化芸術体験1万人プロジェクト 10,178千円 子どもたちが様々な文化芸術に触れることで豊かな創造力・想像力、思考力、コミュニケーション能力などを養う。 (6)文化芸術に溢れ賑やかな福井づくりプロジェクト 1,567千円 越のルビーアーティストなどを企業や団体の希望に応じて派遣することで、文化芸術に溢れるまちを目指す。												
[受益者] 文化芸術活動を実践・参加する県民						[想定される受益者数] 約30,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 アートプロジェクト支援事業 (実績) 県内各地で文化芸術を活用した地域活性化に取り組む事業を支援 ・プロジェクト支援 11件(9,800千円) (R6実績) ・地域の魅力向上支援 21件(8,344千円) ・スタートアップ支援 1件( 240千円)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# ふくいの文化芸術創造発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R7	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9	年度	
事業実施方法	委託((公財)福井県文化振興事業団)											R7				年度
補助率												経過年数				1
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	78,887	1,054			77,833	・特別交付税措置(地域おこし協力隊)14,653千円 ・新しい地方経済・生活環境創生交付金 1,054千円										
[予算額の推移等]													(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						78,887										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	文化芸術活動を実践した 県民の数	(目標)					(2,000)	(3,000)	(5,000)	アートプロジェクト助成事業の実践者数						
活動指標	文化芸術活動に参加した 県民の数	(目標)					(30,000)	(40,000)	(50,000)	アートプロジェクト助成事業への参加者数、文化芸術活動に参加した子ども数						
実績																
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価						
—					—					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 <sup>年度</sup> 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]					
[解決すべき問題・課題] 芸術文化活動に取り組む団体の高齢化が進み、後継者がいないため活動休止となる団体が増加、 県民が芸術文化活動に参加し、ふくいの芸術文化活動の継承と芸術文化の発展につなげるため、参 加型芸術文化フェスティバルを開催する芸術文化団体の活動を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 県民一人ひとりの積極的な参加により、多様場文化の発表、活動、交流、鑑賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術 文化に親しむ機会を提供する。さらにふくいの文化を全国に発信し交流を促進するため、国民文化祭への参加を支援する。												
[事業内容] (1)「ふくい県民総合文化祭」の開催 7,300千円 ・「ふくい文化フェスティバル(仮称)」(福井県文化協議会)の開催 3,000千円 ・「福井県総合美術展」(福井県美術の会)、「福井県音楽コンクール」(福井県音楽コンクール運営委員会)の開催を支援 【補助金】上限1,500千円/団体、補助金1/2 ・「選抜芸能祭「選抜美術展」の開催を支援 市町文化協議会が持ち回りで開催する活動発表事業を支援 【補助金】上限500千円/団体、補助率1/2 ・「ふくい県民総合文化祭」の一体的な広報  (2)国民文化祭への参加支援 150千円 【補助率】上限150千円/団体、(交通費7千円/人)、補助率1/2												
[受益者] 芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民						[想定される受益者数] 約26,000人						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社)福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】 ・文化活動支援事業(いしかわ県民文化振興基金) 文化活動団体への助成  【富山県】 ・富山県芸術団体への助成				

# ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H18 <sup>年度</sup> 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	0.5											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,450				7,450							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,100	7,500	7,500	7,450	7,450						
2月現計予算額の推移		6,886	7,262	7,500	7,450							
決算額の推移		6,258	7,262	7,399								
前年度までの 主な増減理由	平成30年度 令和元年度に補助事業実施団体数の見直し 令和4年度 新型コロナ対策経費補助の減(50,000×12団体)											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加人数(観客数含む) (目標) 実績	(26,000) 12,899	(26,000) 13,647	(26,000) 17,805	(26,000) 12,404	(26,000)	(26,000)	(26,000)	県民文化祭参加者数 (R6より事業の内容を見直したため指標を変更。 R5までの指標:ふれあいフェスティバル参加人数(観客数含))			
活動指標	助成団体 (目標) 実績	(23) 20	(23) 21	(23) 20	(23) 14	(23)	(23)	(23)	県民文化祭として助成もしくは共催した団体数 (R6より事業の内容を見直したため指標を変更。 R5までの指標:助成団体数)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・令和6年度から県域文化団体が一堂に会する総合文化祭を開催。 ・令和6年10月に開催したハーモニー文化フェスでは約3,000人を超える方が参加した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 <sup>年度</sup> 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題]  将来の文化の担い手となる子どもたちが文化芸術に親しむ環境整備が必要						[問題・課題を表す客観的データ]  鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。												
[事業内容] (1)公演事業 ①ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の児童を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2)文化施設活用事業 ①キッズミュージアム…企画展等に合わせて子ども向け体験講座1施設あたり年2回実施 ②学校鑑賞会…授業や部活動の一環で文化施設での企画展を観覧料減免で鑑賞できる機会を提供 ③ふれあいミュージアム…学芸員等が学校へ出向き、専門的知識を生かして美術・歴史等の授業を実施 (3)芸術家派遣事業 プロ演奏家・芸術家を学校へ派遣し、文化部の生徒を対象とした講話、実技披露、実技指導を実施 (4)アートコミュニケータ養成事業 芸術鑑賞等のプログラム企画・運営、ファシリテーターとして芸術と人をつなぐ役割を担うアートコミュニケータの養成講座を実施												
[受益者] 幼児、小学生、中学生、高校生						[想定される受益者数] 11,000人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業 (実績) ・文化施設で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもが日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・ふるさと子どもコンサートは、市町と共催で実施				他県の状況						

# ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 <sup>年度</sup> 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,983			330	9,653	地域創造(地域の文化・芸術活動助成事業助成金)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			50,300	3,882	41,338	12,835	9,983	・一部事業を新規事業に統合したことによる事業費の減				
2月現計予算額の推移			50,610	3,882	34,666	12,835						
決算額の推移			49,996	3,324	34,446							
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度 コロナ対策のかかり増し経費の増額</li> <li>・R4年度 事業内容の整理による減額(ふれあい文化子どもスクール、ふるさと子どもコンサート(音楽堂)、未来の音楽人材育成事業)</li> <li>・R5年度 6月補正でこどもアートデビュー体験を追加したことによる増額</li> <li>・R6年度 事業内容の整理による減額(こどもアートデビュー体験)</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	芸術・文化を体験する子ども数	(目標)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)	本事業で実施したプログラムの参加者数 (R6より全小学校を対象としたオーケストラ鑑賞体験プログラムを廃止したため、目標値を11,000→5,000人に変更)		
		実績	6,846	5,555	13,391							
活動指標	事業実施回数	(目標)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	本事業で実施したプログラムの実施回数		
		実績	74	95	166							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R6年度からヤングアートキャンプを廃止し、芸術家派遣事業を実施。2月時点において約2,000人が参加している。				・学校が校外学習等で利用できる音楽堂でのプログラムを新規事業「ふくいの文化芸術創造発信事業」に統合。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,852	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# みんながアートでつながるプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] ・誰もが創作活動を楽しめる環境を整備し、多様な芸術の意義と価値の理解を推進する必要がある。 ・障がい者アートの制作を指導できる人材が不足している。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成27年国勢調査 県の職業別就業者数 小分類「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」1,500人／399,450人						
[事業目的] 障がいの有無、世代等に関わらず様々な人たちが創り出したアート作品を一堂に展示する展覧会を開催することで、多様性の意義と価値への理解を促進するとともに、才能ある美術作家を発掘し、育成につなげる。併せて、多様な人々が創造活動に参加できる機会を増やすため、指導やプロデュースができる人材の育成を行う。												
[事業内容] (1)障がい者を含め、多様な人たちが創り出した作品を展示する展覧会の開催 ＜想定会場＞本 展：県立美術館(1月頃) 選抜展：敦賀市プラザ萬象など(3月頃) ※展覧会場に来場できない方も楽しむことのできるコンテンツの制作 ・作品、展示会場風景を撮影した映像を作成  (2)制作や出展などにアドバイスできる人材の養成 ・人材を養成するための研修会を開催☑  (3)福井のアートを県内外へ発信 ・(1)で展示された作品を県外(ふくい南青山291等)で展示、販売 ・作家との交流イベント開催												
[受益者] 出品アーティスト、展覧会来場者、研修会参加者						[想定される受益者数] 1,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# みんながアートでつながるプロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5	年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営、委託			R5						年度			
補助率				経過年数						3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	15,972				15,972								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					10,807	15,972	・来場の難しい方でも楽しむことのできる映像作成および対象地域の拡大による増額						
2月現計予算額の推移				11,572	10,807								
決算額の推移				11,446									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	展示会の来場者数 (目標) 実績	-	-	(1,000) 2,326	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	「まるまるつながるアートてん まる」本展と巡回展の来場者数				
活動指標	展示会の開催回数 (目標) 実績	-	-	(2) 2	(2)	(2)	(2)	(2)	「まるまるつながるアートてん まる」本展と巡回展				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・「まるまるつながるアートてん まる」での来場者が2,000人を超え、美術ファンだけでなく、保育関係者、福祉関係者、親子連れ等幅広い層の来場があった。 ・嶺北と嶺南の2会場で開催することができた。				・展示会で展示する作品の対象地域を北陸三県+北信越+東海から北陸+北信越+東海+近畿に拡大				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 熊川宿若狭芸術祭開催推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業後の嶺南の地域活性・交流人口拡大のため、本県ならではの歴史的・文化的な地域資源を活かした交流拠点を作っていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について 76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 国内外から優れたアーティスト等を招聘し、地域住民に優れた文化芸術を身近に接する機会を提供するとともに、滞在するアーティストが地域の歴史・文化をもとにした創造的な表現活動(公開制作など)を通じて広く発信し、若狭熊川宿が「世界の文化交流拠点地域」となることを目指す。												
[事業内容] 国内外のアーティストが歴史的、文化的な地域資源あふれる地域に滞在し、創作活動や地域住民との交流、魅力発信を展開(臨場) 【連携機関】ヴィラ九条山(京都府京都市 フランスのヨーロッパ・外務省の文化機関)、関西日仏学館、国内の美術系大学、東京フィルハーモニー交響楽団 【場 所】若狭熊川宿(平成8年重要伝統的建造物群保存地区選定、平成27年日本遺産認定) 【時 期】令和7年8月～11月(うち、美術分野の滞在制作期間10日間、展示期間30日間) 【活動内容】①美術分野 ・古民家を活用したまちなかの施設を創作拠点とし、招聘アーティストが若狭町熊川の歴史・文化をリサーチし、地域の魅力や自身の創作活動に関する情報を、広く国内外へ発信 ・公開制作やワークショップ、アーティストトークなど身近な場所で地域住民との交流機会を創出 ②音楽分野 ・日本を代表するオーケストラである東京フィルの楽団員や越のルビーアーティストが若狭熊川宿で音を創り、地元住民に音楽を届けるコンサートやアウトリーチを実施 【実施主体】熊川宿若狭芸術祭実行委員会((公財)福井県文化振興事業団、若狭美&Bネット、県、若狭町 など)												
[受益者] 招聘アーティスト、ワークショップ参加者、展覧会・コンサート参加者など						[想定される受益者数] 3,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	若狭町も実行委員会に加盟し、負担金を拠出					他県の状況						

## 熊川宿若狭芸術祭開催推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,381				9,381							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,932	9,381	・事業内容の拡充による増額 (コンサート事業等)					
2月現計予算額の推移				6,056	4,932							
決算額の推移				6,055								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	展覧会への来場者数 (目標) 実績	-	-	(500) 1,265	(500) 2,470	(1,500)	(2,000)	(3,000)	滞在アーティスト数、交流した学生数、ボランティア数、公開制作・展覧会への来場者数			
活動指標	アーティストインレジデンス実施回数 (目標) 実績	-	-	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)	(1)	アーティストインレジデンス実施回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R6年8月に熊川宿にてアーティストインレジデンスを1回開催し、アーティスト5名、美術評論家1名、公開制作・展覧会への来場者数2,470名の交流数となった。				芸術祭としての波及効果を高めるために、事業内容を拡充し、嶺南の市民や企業、文化施設等も一体となって創り上げる芸術祭とする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について 76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 学校等で使われなくなったピアノをえちぜん鉄道福井駅に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。また、まちかど幸福ピアノを活用して、プロのピアニストに駅で演奏していただき、より多くの方がプロの演奏を身近に聴く機会を創る。												
[事業内容] (1)ミニコンサートの開催 ・年2回の調律に合わせて、プロのピアニストによる30分程度の演奏会の開催 ・演奏者は越のルビーアーティスト等、福井県にゆかりのアーティストを中心に依頼 (2)ピアノの維持管理(調律、外装クリーニング、修理)												
[受益者] 県内外の観光客やピアノ演奏者、福井ゆかりのプロピアニストなど						[想定される受益者数] 1,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2	年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営									R2	年度			事業終了 予定年度 (見直し年度)
補助率										6	年			事業終了 予定年度 (見直し年度)
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	318				318									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		254	254	224	204	318	・まちかど幸福ピアノを活用した年2回のミニコンサートを実施するため増額							
2月現計予算額の推移		254	254	224	204									
決算額の推移		34	137	200										
前年度までの 主な増減理由	R3 ピアノ1台分の管理費へ減													
[成果指標等の推移]														
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ピアノの利用日数	(目標) (365)	(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	利用頻度1日1回以上					
		実績 365	365	365	365									
活動指標	ミニコンサート開催数	(目標)				(2)	(2)	(2)	身近にプロのピアニストによる演奏を聴く機会をつくとともに、幸福ピアノの認知度を高めるため、年2回ミニコンサートを開催					
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・利用者数:約10~15人/日				ラッピング装飾したピアノを活用し、年2回ミニコンサートを行うことで、誰もが身近にプロの演奏を聴くことができる機会をつくる。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## サブカルを活用した地域活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域で多くの人が楽しみ、福井の魅力を発信できるサブカルイベントを実施する団体がない。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] サブカルを楽しむ機会が少ない嶺南地域において、県内の若者と協働で、福井の新たな魅力を発信することができるイベントを開催することにより、若者文化による街のにぎわい創出や新幹線開業後の観光誘客のための新たなコンテンツ創りを目指す。												
[事業内容] ○嶺南地域4高校の学生有志(トンティーン)のアイデアによるサブカルイベントの開催 内 容:コスプレ体験会やファッションショー、ゲームトーナメント、2次元キャラを使ったVtuber体験、アイドルミニコンサート、 You(V)tuberによるライブパフォーマンス 等 会 場:敦賀きらめきみなと館、金ヶ崎緑地エリア その他:ファッションショーやコスプレ体験会、ゲーム大会など、来場者も一緒に楽しめるような企画とする												
[受益者] 県内外の若者やファミリー層、観光客						[想定される受益者数] 約3,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## サブカルを活用した地域活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	負担金												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,192				1,192								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					3,184	2,123	1,192	県の負担割合の減					
2月現計予算額の推移					3,184	2,123							
決算額の推移					3,067								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者数	(目標) 実績			(200) 80	(200) 120	(500)	(300)	(500)	イベントの有料参加者数			
活動指標	協賛数	(目標) 実績			- -	(5) 1	(15)	(10)	(15)	協賛企業・団体等の数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
事業による要因 開催地域を嶺南地域に変更したことにより、準備期間が短くなってしまい、有料コンテンツの企画が進まなかった。 外的要因 来場者の多くがファミリーや高校生であるため、有料コンテンツの設定金額に調査を要する。					・魅力的なゲストや企画など、訪れたいコンテンツを充実させ、サブカルに興味のある若者やファミリー層等への訴求力を高める。 ・民間への段階的移行のため県の負担割合を減額。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	931	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 <sup>年度</sup> 経過年数	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金			1 年								
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]					
[解決すべき問題・課題]  県内で活動するアマチュア音楽家の活躍の場が限られている。						[問題・課題を表す客観的データ]  鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的]  全国のアマチュアオーケストラに所属する音楽愛好者が一堂に集い、オーケストラを結成して演奏会を行う本大会の福井県開催を支援することにより、本県のアマチュア音楽家の活躍の場を創出するとともに、県民が質の高い芸術に触れる機会の創出につなげる。												
[事業内容] ○全国のアマチュアオーケストラに所属する音楽愛好者が一堂に集い、オーケストラを結成して演奏会を行う大会の開催 開催日:令和7年9月12日～9月14日(1～2日目が練習日、3日目が演奏会) 会 場:福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 参加者:(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟の131団体(全国から300名)が出演 一般参加者は3日目の有料コンサートに参加 主 催:(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟福井大会実行委員会 共 催:福井県、福井市												
[受益者] 県内外のアマチュア音楽家、県民						[想定される受益者数] 約2,000人(出演者、観覧者)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7	年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7	年度	
事業実施方法	負担金			R7						年度	1				年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,000				2,000										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						2,000									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観覧者数 (目標) 実績					(1,400)	(1,400)	(1,400)	大ホールの収容人数(1,456席)						
活動指標	参加者満足度 (目標) 実績					(80)	(80)	(80)	大会参加者へのアンケート調査で満足度80%以上						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価					
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 「福井県文化振興プラン」推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] 「福井県文化振興プラン」を効果的に推進するため、民間を含めた様々な主体と協働で取り組む必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 令和6年4月に策定した「福井県文化振興プラン」の実現に向け、官民が一体となって取組みを進めるため、経済団体、文化団体、文化施設、活動者、市町などで構成する「福井県文化芸術推進会議」を設置し、プランに定める施策の進捗や特に民間と協働を進めるべきプロジェクト等について協議を行う。												
[事業内容] (1)福井県文化芸術推進会議の開催 経済団体、文化団体、文化施設、活動者、市町等による会議を開催 【委員】15名 【開催回数】年3回												
[受益者] 文化芸術活動を実践・参加する県民						[想定される受益者数] 約30,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

# 「福井県文化振興プラン」推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子									
事業主体		県			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R7	年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R11	年度				
事業実施方法		直営										R7	年度				R7	年度	1	年
補助率												R7	年度				R7	年度	1	年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等														
予算額	592				592															
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>																				
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由													
当初予算額の推移						592														
2月現計予算額の推移																				
決算額の推移																				
前年度までの主な増減理由																				
[成果指標等の推移]																				
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠											
成果指標	文化芸術活動を実践した県民の数 (目標) 実績					(2,000)	(3,000)	(5,000)	アートプロジェクト助成事業の実践者数											
活動指標	民間との協働に向けた会議開催回数 (目標) 実績					(3)			「福井県文化芸術推進会議」開催回数											
[事業の評価]																				
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価											
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

## 若手美術家育成事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] 多くの美術ファンが集う都内で若手美術家の創作活動が発表できる機会はなく、優秀な作家であっても発信力に欠けているため、全国発信するツールが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 本県ゆかりの若手美術家の発表機会を創出し、創作活動の発信を応援する。												
[事業内容] ○ふくいアートアタック 首都圏において、若手美術家が初めて開催する個展を支援する。 ・出展する本県ゆかりの若手美術家を公募(2枠) ・学芸員資格保有者などの美術に精通している委員で構成する審査委員会により、出展作家を選定 ・会場使用料、広報費、企画料などを県が負担 ・会場は、首都圏において美術関係者、美術ファンが集い美術に関する情報が集積する場所 ・会期は、2週間程度(1枠当たり1週間)												
[受益者] 本県ゆかりの若手美術家						[想定される受益者数] 16人(8年間)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 若手美術家育成事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3年度 経過年数 4年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				2,452	2,452	2,461								
2月現計予算額の推移			1,885	2,452	2,452	2,461								
決算額の推移			1,880	2,450	2,432									
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度に補正予算に前倒し													
[成果指標等の推移]														
区分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	作品展示する若手美術家数	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)	(2)	公募による選定 2人/年				
活動指標	応募者数	(目標) 実績	- 24	- 18	- 7	- 7	-	-	-					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・応募者7名から、東京での個展開催作家2名を選定。 ・令和7年2月に東京銀座のギャラリーで個展を開催。 美術評論家、ギャラリー・美術館関係者を含む250名以上の来場者数があった。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,461			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 世界的オーケストラ公演誘致による地域活性化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			1						年			
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
世界トップレベルの楽団による国内公演は大都市に限定されており、県民が世界的な超一流の音楽に触れる機会がない。						鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)							
[事業目的]													
令和6年度に世界2大楽団であるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団による県立音楽堂での公演誘致に合わせ、「ウィーン・イヤー」として、東京や県内各地でのPRやイベント実施により、ウィーン・フィル公演による県外富裕層の誘客強化、県内での機運醸成を図り、地域活性化につなげる。													
[事業内容]													
(1) 歓迎レセプションの開催 ・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に対するおもてなしや、公演に協賛いただいた企業関係者とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーと音楽振興等について懇談を通じた親睦を図るため、歓迎レセプションを開催する。 (2) 教育プログラムの実施 ・次世代を担う子どもたちに世界トップレベルの音楽に触れる機会を提供するため、リハーサルを小中高生向けに公開する。 (3) 観光誘客事業 ・県外富裕層向けに本公演と県内主要観光地と食(越前がに等)を組み合わせたプレミア旅行商品を企画・販売する。 (4) 西武福井店での特別イベント ・西武福井店1階に特別ブースを設置し、ウィーン関連イベントを開催(公演のパネル展示、ウィーン菓子の販売等) (5) ウィーン・フィル公演のPR・機運醸成事業 ・北陸新幹線を利用した福井への誘客を促すため、東京で本公演のPRを実施 ・ウィーン・フィルの魅力伝える講演会とミニコンサートを開													
[受益者] 県民、県外の観光客						[想定される受益者数] 約5,000人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名	関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					事業名
市町との連携状況						他県の状況							

## 世界的オーケストラ公演誘致による地域活性化事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6年度 経過年数 1年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					12,940							
2月現計予算額の推移					12,487							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	集客数 (目標) 実績				(3,000) 4,016			(3,000)	ウィーン・フィル公演および関連イベントの集客数			
活動指標	関連イベントの実施 (目標) 実績				(5) 6			(5)	ウィーン関連イベントの実施回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・27年ぶりに開催したウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演は県民からの注目も高く、一般のオーケストラ公演より高額だが、チケットは販売開始翌日に完売。 ・本公演前のリハーサルを県内の子ども向けに無料で公開するとともに、歓迎レセプション等の関連イベントを開催することで、成果指標の集客数を大幅に達成。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	12,940	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 国際音楽交歓コンサート2024開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金			経過年数						1 年			
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを上げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題]  国際的にも一流の海外アーティストによる公演は限られており、県民が気軽に一流の音楽に親しめる機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ]  鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)							
[事業目的]  公益社団法人国際音楽交流協会と共催で、一流の国際的音楽家によるクラシックコンサートを開催し、より多くの県民が一流の音楽に親しむ機会を提供する。													
[事業内容] ○一流の国際的音楽家によるコンサートの開催 内 容:ヴァイオリン・チェロ・ピアノ・民族楽器・声楽等による、親しみやすい曲目によるコンサート 会 場:県立音楽堂小ホール													
[受益者] 県内のクラシック音楽ファンやクラシック初心者の子どもなど						[想定される受益者数] 約600人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名						
市町との連携状況						他県の状況							

# 国際音楽交歓コンサート2024開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体		県			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営、負担金												
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					4,581									
2月現計予算額の推移					4,581									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観覧者数 (目標) 実績				(366) 202			(366)	小ホール定員の60%					
活動指標	広報媒体数 (目標) 実績				(4) 4			(4)	コンサートの開催について取り上げる広報媒体数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
事業による要因 平日夜の開催だったことから、遠方から子どもたちの参加が難しかった。 外的要因 時期的に他の文化イベントやコンサートなどが多く開催されていたため、参加者が分散した。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	4,581			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

# アートプロジェクト支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等	[ 福井県文化振興プラン ]						
[解決すべき問題・課題] アートの力を活用した地域の活性化を図るため、県内芸術文化団体を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 鑑賞以外の文化芸術活動について、76.4%が特になし 地域の文化的環境について、63.9%が満足していない、関心がない (R4県民の文化に関する意識調査)						
[事業目的] 県内アーティストや芸術文化団体の活動を広く発信するとともに、専門家による相談窓口を設置し、団体の活動支援を行うことで、アートを活用した地域活性化を図る。												
[事業内容] (1)相談窓口の設置、相互交流を図る研修会の開催 ・アートプロジェクト(アートを活用した地域振興策)を実施、または実施を検討している個人・団体等が相談できる窓口を設置 ・ワークショップやグループディスカッションなど、団体等の相互交流を図る研修会を開催 ・継続的で自立した文化芸術活動を支援する地域おこし協力隊を1名から2名に拡充し、情報発信支援や収入源の確保のため補助金等の情報提供や申請書類の作成指導等、文化芸術団体の活動支援を強化する。  (2)アートプロジェクトの支援 ・地域の魅力向上や社会課題の解決につながる、アートを活用したまちづくりに取り組む事業に助成金を支給												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 アートプロジェクト相談支援事業、芸術文化活動推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若者文化活動応援事業、アーティスト滞在型活動支援事業 (実績) ・アートプロジェクトを実施・検討する団体等への支援 ・文化芸術の振興に寄与する事業や活動に対する補助 ・芸術家が地域資源を生かして行う活動を支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

# アートプロジェクト支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		32,037	33,340	43,827										
2月現計予算額の推移		29,214	30,358	36,401										
決算額の推移		26,515	29,255											
前年度までの 主な増減理由	令和5年度 文化芸術団体の活動を支援する地域おこし協力隊を1名委嘱 令和6年度 文化芸術団体の活動を支援する地域おこし協力隊を1名委嘱(計2名)													
[成果指標等の推移]														
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	芸術文化活動に参加した 県民の数 (目標)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(40,000)	(40,000)	助成事業への参加者数						
	実績	16,014	25,554											
活動指標	事業採択数 (目標)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	事業採択数 15件						
	実績	32	41	33										
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・41の文化芸術団体の活動に助成金を支給するとともに、地域おこし協力隊が文化芸術団体の情報発信支援や相談対応を行うことで成果指標の芸術文化活動に参加した県民の数を達成。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

# 一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 一乗谷朝倉氏遺跡再整備計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 博物館の開館を契機に、博物館を含む遺跡全体を1つのエリアと捉え、「日本最大の戦国フィールドミュージアム」としてより一層魅力を向上させる。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (一乗谷朝倉氏遺跡博物館来館者数 R4.10~R5.9:180千人 R5:180千人) (旧資料館見学者数 H30:64千人 R元:88千人 R2:87千人 R3:21千人)						
[事業目的] 県内デザイナーの監修を得て、新たな視点による誘客拡大を図る。												
[事業内容]  (1)「戦国景観」の創出と快適な回遊環境の整備 ・山林部、山裾部の景観改善 ・パークアンドライドの促進  (2)誘客事業へのデザイン視点の導入 ・デザイナーによる監修 ・案内サインの統一的整備 ・遺跡での仕掛けづくり(イベント「一乗谷文化祭」の開催)												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,046,400人(令和5年度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (実績) 平成27年度から事業を開始し、令和4年度に博物館の整備が完了					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・遺跡を管理する福井市と、遺跡内サインの統一化、イベント、PR等で協力					他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	35,693				35,693											
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				46,926	38,520	35,693										
2月現計予算額の推移				46,926	38,520											
決算額の推移				44,212												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡見学者数 (目標) 実績	(1,000,000) 549,582	(1,000,000) 823,200	(1,000,000) 1,046,400	(1,000,000)	(1,100,000)		(1,100,000)	遺跡来訪者110万人/年度を目指す							
活動指標	イベント実施回数 (目標) 実績			(2) 2	(2) 2	(2)			遺跡や博物館でのイベント実施回数:2回以上/年							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
・事業による要因 デザイナーとの協働により統一コンセプトのもと実施したイベントや情報発信によってこれまで歴史に興味の無かった層や、若年層やファミリー層に対する訴求の効果が現れたと考える。 ・外的要因 北陸新幹線の開業等に伴う認知度の向上により、遺跡来訪者数の伸びに繋がったと考える。				デザイナーの意見も踏まえ、既存の遺跡や博物館の魅力を若年層やファミリー層に分かりやすく伝える項目(写真を活用したPR等)に絞り重点的に実施				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

# 一乗谷朝倉氏遺跡博物館魅力発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 博物館の認知度向上						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (一乗谷朝倉氏遺跡博物館来館者数 R4.10~R5.9:180千人 R5:180千人) (旧資料館見学者数 H30:64千人 R元:88千人 R2:87千人 R3:21千人)						
[事業目的] 博物館の更なる誘客拡大のため、一乗谷朝倉氏遺跡博物館でのイベントの開催、県内外への出向宣伝を行うことで、認知度向上を図る												
[事業内容] (1)キャラバン隊による出向宣伝の実施 (2)あさみゅーナイト&縁日の開催												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 200,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業 (実績) R6博物館マスコットキャラクター「シンカゲ」着ぐるみの完成					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡博物館魅力発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,424				7,424											
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					6,032	7,424	一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業から移管									
2月現計予算額の推移					6,032											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	一乗谷朝倉氏博物館見学者 数 (目標) 実績			(200,000) 153,194	(200,000)	(20,000)		(200,000)	一乗谷朝倉氏遺跡博物館来館数200,000人/年							
活動指標	出向宣伝実施回数 (目標) 実績				(10) 11	(10)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し    見直し額 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他								

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 〕					
政策					〔 12 文化芸術・スポーツ力の強化 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線開業を迎え、アクセス環境の向上や外国人観光客を含む遺跡来訪者に対する案内サービスの充実化に取り組む。						一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元:1,095千人 R2:781千人 R3:550千人 R4:823千人 R5:1,047千人						
[事業目的]												
日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。												
[事業内容]												
(1)山城の観光活用												
(2)山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上												
(3)案内・サービスの充実												
(4)戦国城下町生活再現の実施												
(5)遺跡の魅力発信												
(6)協議会運営												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,046,400人(令和5年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業では、令和4年10月に開館した「一乗谷朝倉氏博物館」への誘客、令和6年の北陸新幹線福井開通など大きな契機を迎えるにあたり、令和2年度～令和6年度の5年間にわたり観光客の受入環境整備に取り組んできた。					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施					他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,000				11,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		7,000	7,000	9,000	9,000	11,000	一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業が終了したことによる本事業における経費の増額および一乗谷朝倉氏遺跡の価値や認知度向上に資する活動に取り組むため					
2月現計予算額の推移		7,000	7,000	9,000	9,000							
決算額の推移		7,000	7,000	9,000								
前年度までの 主な増減理由		一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業を活用し、遺跡周遊バスを運行予定であったが、文化庁の補助金が活用できないこととなったため県・市200万円ずつ増額し賄うこととした。										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,100,000)		(1,100,000)	遺跡来訪者110万人/年度を目指す			
	実績	549,582	823,200	1,046,400								
活動指標	生活再現実施日数 (目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)		(50)	実施日50日以上を維持			
	実績	25	66	70								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 遺跡の発信力の強化やアクセス環境の向上、案内サービスの充実に加え若年層やファミリー層に対する訴求の効果が現れたと考える。 ・外的要因 北陸新幹線の開業等に伴う認知度の向上により、遺跡来訪者数の伸びに繋がったと考える。				北陸新幹線が開業して1年が経過するが、若年層やファミリー層また外国人観光客に対する誘客促進に引き続き取り組み、来訪者数の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 中世都市遺跡研究の拠点化推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R12 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 令和元年12月に締結した国立文化財機構奈良文化財研究所との協定に基づき 連携研究を実施し、劣化の進む一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術を確立することによ り、遺跡を確実に保存し、露出展示を続けていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元:1,095千人 R2:781千人 R3:550千人 R4:823千人 R5:1,047千人						
[事業目的] 世界に誇る特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続ける。 博物館と遺跡を中世都市遺跡の研究者が集う研究拠点とし、大学や研究者と連携しながら調査・研究をする。 全国の遺跡の基準資料となる一乗谷朝倉氏遺跡の遺構・遺物を研究し、国内外の遺跡の調査・研究の進展に寄与する。												
[事業内容] (1)一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究(奈良文化財研究所) 19,352千円  (2)中世都市における金属製品生産及び流通の実態解明に向けた連携研究(帝京大学文化財研究所) 3,086千円  (3)石製資料の原産地分析法の開発に向けた連携研究(国立歴史民俗博物館) 3,253千円  (4)一乗谷朝倉氏遺跡の歴史的価値を再考する取り組み(記録集の作成) 1,822千円												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,046,400人(令和5年度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連 携研究事業 (実績) 奈良文化財研究所との連携協定の締結					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 中世都市遺跡研究の拠点化推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R12 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	27,513				27,513							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		21,883	25,811	24,905	22,443	27,513	新たに2つの研究機関と連携研究を行うことになったため					
2月現計予算額の推移		21,883	25,811	24,059	22,443							
決算額の推移		20,845	22,823	23,924								
前年度までの 主な増減理由	調査・研究の進捗に伴い必要な調査項目が追加されたこと、加えて、人件費および資材費が高騰したため											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,100,000)		(1,100,000)	遺跡来訪者110万人/年度を目指す			
	実績	549,582	823,200	1,046,400								
活動指標	調査項目数 (目標)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	調査項目数:8項目/年			
	実績	8	8	8								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 特別史跡であることから、調査などの実施については、十分な専門家指導が必要があり時間を要する。 ・外的要因 北陸新幹線の開業等に伴う認知度の向上により、遺跡来訪者数の伸びに繋がったと考える。				新たに2つの研究機関と連携協定を結び、保存技術の確立や、国内外の遺跡の調査・研究の進展に寄与することを目指し、引き続き調査・研究を実施する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 越美北線の魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R7 年度					
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ]		政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]		関連する県の計画等									
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源としての越美北線の魅力向上</li> <li>・越美北線沿線地域に所在する観光資源の磨き上げおよび周遊滞在促進</li> <li>・国内外への情報発信による誘客促進</li> </ul>						越美北線利用者数 243,773人(R2)									
[事業目的]															
北陸新幹線福井・敦賀開業を迎え、県外からの来訪者の増加が見込まれるなか、越美北線の観光利用の促進および沿線観光の振興を図るため、越美北線の魅力を高める。															
[事業内容]															
(1)一乗谷駅および戦国列車の保守 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に装飾を施した一乗谷駅舎の点検と、「戦国列車」の大規模車両点検の実施に伴う再ラッピングを行う。</li> <li>・駅舎の装飾とラッピング車両を継続することにより、一乗谷への来訪者の満足度向上と越美北線の魅力向上を図る。</li> </ul> (2)越美北線ガイドアプリの保守・運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリーや割引クーポン機能、みんなのARTV、沿線観光情報・旅のお供コンテンツの保守・運用</li> </ul>															
[受益者] 一乗谷朝倉氏遺跡の来訪者数						[想定される受益者数] 1,046,400人(令和5年度実績)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (実績) 戦国列車の運行 越美北線ARナビアプリの制作					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR西日本金沢支社・大野市・福井市・県の4者で「越美北線観光利用促進協議会」を組織し、情報共有・実施事業について協議</li> <li>・同4者が協力して事業を推進、統一的に情報を発信してPR</li> </ul>					他県の状況									

## 越美北線の魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,646				11,646							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				25,098	10,534	11,646	戦国列車の再ラッピングおよび一乗谷駅の点検が必要となるため。					
2月現計予算額の推移				25,908	10,534							
決算額の推移				23,040								
前年度までの 主な増減理由	令和5年度中にロゴマーク制作事業を観光誘客課へ移管、御乗印帳制作事業は事業完了となったため。											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	アプリダウンロード数 (目標) 実績				(1,000) 630	(1,000)		(1,000)	年間ダウンロード数1,000件			
活動指標	御乗印帳販売数 (目標) 実績			(50) 100	(500)	(500)		(3,000)	御乗印帳3,000冊の完売を目指す			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
アプリ自体の認知度が不足している。 御乗印帳の販売について5年間で3,000冊の完売を目指す。				列車や駅の装飾の継続、アプリ利用の周知を積極的に行い、 越美北線や沿線観光の魅力の向上を継続的に実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 博物館・美術館の専門職員による地域連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 大本山永平寺に所蔵されている古文書、仏像等は、本県の学術振興と発展に寄与するものでありながら、調査体制が整っていないこともあり、未調査のままとなっているものが膨大に存在している。						[問題・課題を表す客観的データ] 永平寺の所蔵古文書点数:9200点(把握されているもののみ) 『永平寺資料』:既刊7巻(古文書に関するものは3巻、江戸時代中期まで) 永平寺を訪れる観光客:435千人(令和5年度観光客入込数)						
[事業目的] 県立博物館施設の学芸員や県内外の関係大学、外部専門家からなる共同調査・研究の体制を構築したうえで、永平寺との共同調査を行い、保存の策を講じ、調査・研究の成果を共有し、広く県民や研究者に公開することを目指す。												
[事業内容] 福井県と関係大学等が連携し、永平寺所蔵の古文書、典籍、仏像等を調査し、その成果を博物館・美術館における企画展やシンポジウム等で県民や社会に還元する。また、調査で得られた知見については、インターネット等で公開することを目指す。 そのために、以下の作業、調査を行う。  ①永平寺所蔵資料の古文書リストのデジタル化および写真のスキャン ②永平寺所蔵資料の借用と清掃、撮影 ③古文書リストにある資料の確認と未登録の古文書のリスト作成 ④研究成果の展示やシンポジウムの開催による県民還元 ⑤山門五百羅漢像調査												
[受益者] 大本山永平寺・曹洞宗寺院・県内外観光者・国内外歴史研究者						[想定される受益者数] 600,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 博物館・美術館の専門職員による地域連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,653				4,653							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,979	4,653						
2月現計予算額の推移					4,979							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	年間調査資料数 (目標) 実績				(14,400) 2,000	(14,400)	(14,400)	(14,400)	1日100点×144日			
活動指標	調査数 (目標) 実績				(12) 8	(17)	(17)	(17)	古文書調査12回+五百羅漢像調査5回			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
大学など外部研究者等との調査体制の構築、調査に向けた計画を策定				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 美術館・博物館の機能強化に向けた基本計画策定事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 福井県文化振興プラン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
令和6年度に実施した「博物館・美術館のあり方検討事業」の結果を踏まえ、地域的・社会的課題に対応するために、美術館・博物館として今後求められる具体的な機能や役割の整理が必要である。						文化芸術の範囲を拡大し、まちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等との連携を範疇とした文化芸術基本法の改正等を背景とした博物館法(令和5年4月1日施行)の改正美術館建設は昭和52年で47年が経過						
[事業目的]												
令和6年度に実施した「博物館・美術館のあり方検討事業」の結果を踏まえ、地域的・社会的課題に対応するために、有識者から現代において美術館・博物館として今後求められる具体的な機能や役割を整理し、多様な主体との連携・協力を進め、地域の活力向上と観光に寄与するための機能強化に向けた基本計画を策定する。												
[事業内容]												
(1)美術館 基本計画策定委員会の設置および基本計画の策定												
(2)歴史博物館 基本的方向性の策定												
(3)幾久公園 基本計画策定委員会の設置および基本計画の策定												
[受益者] 県内外の博物館・美術館利用者						[想定される受益者数] 317,370人(令和5年度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「博物館・美術館のあり方検討事業」 (実績) 専門家委員会の開催					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 美術館・博物館の機能強化に向けた基本計画策定事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,840	12,920			12,920	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					5,202	25,840	計画策定委業務の追加による増額					
2月現計予算額の推移					5,202							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績					(-)	(-)	(-)	施設の基本計画を策定する事業であり、数値目標の設定になじまない			
活動指標	(目標) 実績					(4)	(4)	(4)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価				
有識者からなる美術館のあり方検討会を4回開催し、基本的方向性を検討した。					あり方検討の結果を踏まえ、機能強化に向けた基本計画を策定する。			■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R8 年度					
事業実施方法	直営、負担金														
補助率	-														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ]		政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]		関連する県の計画等		[ ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
県内全域に分布する博物館・美術館において、これまで歴史や文化、博物館・美術館に興味・関心がなかった人も訪れてみたくなるような働きかけが必要						県内博物館・美術館数 82館									
[事業目的]															
県内の博物館・美術館の連携を支援し、県民の博物館・美術館に対する興味関心の向上を図るとともに、博物館・美術館を核とした県内周遊を促進。															
[事業内容]															
(1)情報発信支援 ・福井県博物館協議会ポータルサイト「FUKUI MUSEUMS(ホームページ)」の運営支援 ・SNSや紙媒体等による広報支援。															
(2)嶺南地域住民に対する文化交流機会の拡大支援 ・嶺南地域から嶺北の各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」の運行(年間12便)															
[受益者] 県内外の博物館・美術館利用者						[想定される受益者数] 317,370人(令和5年度実績)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	ポータルサイトに市の文化施設を記載					他県の状況									

## ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,784				2,784							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,666	2,213	2,784	2,784						
2月現計予算額の推移			3,666	2,213	2,784							
決算額の推移			1,953	2,155								
前年度までの 主な増減理由		・R6 燃料費や人件費の高騰により、バス運行費用が増加										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	送迎バス利用者数	(目標)	(240)	(240)	(240)	(240)		(240)	音楽堂行(中型6便) 文化施設行(中型6便、7台)			
		実績	102	144	224							
活動指標	送迎バス運行便数	(目標)	(12)	(12)	(12)	(12)		(12)	運行台数12便/年			
		実績	9	12	12							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
コロナウィルスによる移動制限が撤廃されたこともあり、前年に対して利用者が大きく増加した。これまで天候不良などで中止された便もあったが、全ての回で運行できたことも利用者増を後押しした。				令和6年度に続き、7年度も魅力的な展覧会を観覧するコースを設定し、バス利用者の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 歴史博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 42 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
常設展示だけでは伝えきれない福井の歴史、民俗、文化について、県内外の他館の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 R3:5,771人 R4:5,936人 R5:13,053人 R6:11,700人						
[事業目的]												
資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
(1)企画展開催事業 夏季特別展「越前・若狭やきものの旅(仮)」 令和7年7月19日(土)～8月31日(日) 秋季特別展「平安時代の対外交流と唐物(仮)」 令和7年10月18日(土)～11月24日(月・振休) フレキシブル展示												
(2)企画展準備事業 令和8年度以降の企画展開催のための調査、資料借用のための交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 6,405 人(令和5度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業、歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・歴史博物館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開 ・歴史博物館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

## 歴史博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 42 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	-																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等												
予算額	17,367			使用料 諸収入 6,075	11,292	観覧料3,275千円、図録販賦料2,800千円												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>																		
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由												
当初予算額の推移	15,311	17,075	18,644	35,730	17,367	新幹線開業記念特別展の終了に伴う減額												
2月現計予算額の推移	15,311	17,075	18,644	33,726														
決算額の推移	13,243	12,976	16,102															
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度 幕末明治福井150年博メイン会場の展示として実施</li> <li>・R2年度 会計年度任用職員経費の減(政策推進Gで要求)</li> <li>・R3年度 企画展の内容に基づく減額</li> <li>・R4年度 企画展の内容に基づく減額</li> <li>・R5年度 企画展の内容に基づく増額</li> <li>・R6年度 新幹線開業に伴い企画展の内容充実のため増額</li> </ul>																	
[成果指標等の推移]																		
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	企画展観覧者数	(目標) (9,000) 実績 5,771	(8,500) 5,936	(9,000) 6,405	(25,000) 11,700	(10,000)			夏季特別展 5,000人 秋季特別展 5,000人									
活動指標	企画展開催件数	(目標) (2) 実績 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2)			企画展2回開催									
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価										
当初借用予定の展示資料が、先方の都合により借用できなかったため。				他館および企業とのコラボレーションにより来館の少なかつた20～30代層の認知度を上げることができたので、今後は、目玉資料を確実に借用できるよう努めるとともに、展示内容のほか広報面での工夫・充実化を図り、さらに誘客を図りたい。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了								
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

## 若狭歴史博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 44 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
常設展示だけでは伝えきれない福井県若狭地方の歴史、民俗、文化について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 R4:1,245人 R5:1,160人 R6:3,638人						
[事業目的]												
調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
(1)企画展開催事業(10,257千円) 特別展「若狭 山のほとけ、村のほとけ(仮)」令和7年10月25日(土)～11月24日(月祝) 若狭地方の歴史、民族、文化についての調査を行い、企画展や講演会、講座として、広く県内外に紹介し、地域文化の高揚を図る。												
(2)若狭のみほとけフレキシブル(4,734千円) 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 1,160人(令和5度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若狭歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・若狭歴史博物館調査研究事業 研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

## 若狭歴史博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 44 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,048			使用料 諸収入 1,332	12,716	観覧料、図録						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		11,970	9,857	12,806	21,499	14,048	新幹線開業記念特別展の終了に伴う減額					
2月現計予算額の推移		11,159	9,768	12,806	21,499							
決算額の推移		10,782	9,768	12,160								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度 若狭歴史博物館開館1周年記念特別展を開催</li> <li>・H31年度 リニューアル5周年記念特別展を開催</li> <li>・R2年度 会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求</li> <li>・R3年度 企画展の内容に基づく減額</li> <li>・R4年度 企画展の内容に基づく減額</li> <li>・R5年度 企画展の内容に基づく増額</li> <li>・R6年度 新幹線開業記念として開催するため増額</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) #####	#####	(2,800)	(9,000)	(2,800)			・「山のほとけ、村のほとけ」 2,800人			
		実績 2,213	1,245	1,160	3,638							
活動指標	企画展開催件数	(目標) (1)	(1)	(1)	(2)	(1)			企画展1回開催			
		実績 1	1	1	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
令和4,5年の特別展入館者数と比較すると、どちらも約1.5倍の入館者数となったが、専門的な内容であったため、万人への興味を引くまでには至らなかったと考えられる。				福井県にゆかりがあり、かつ全国からの観光客を呼び込める集客力のある題材魅力的な特別展を開催するとともに、引き続きHPやSNS等で発信する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 県立美術館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 49 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
普段接することのできない美術作品の魅力を来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 R3:53,198人 R4:42,770人 R5:26,933人 R6:77,126人						
[事業目的]												
国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する												
[事業内容]												
(1)企画展開催事業 特別企画展「ミュシャ展～アール・ヌーヴォーの女神たち～」 令和7年7月19日(土)～ 8月31日(日) 特別企画展「大どろぼうの家」展 令和7年11月22日(土)～ 令和8年1月12日(月・祝) 特別企画展「佐川美術館展」 令和7年2月14日(土)～ 3月15日(日)												
(2)企画展準備事業 令和8年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 26,933 人(令和6度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 美術館資料収集事業 (役割分担) 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開					
市町との連携状況					他県の状況							

## 県立美術館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 49 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	42,117			使用料 諸収入 33,010	9,107							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		57,947	26,426	45,155	87,613	42,117	新幹線開業記念特別展の終了に伴う減額					
2月現計予算額の推移		57,947	24,575	45,155	87,613							
決算額の推移		55,743	24,520	43,084								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求</li> <li>・R2年度は、嶺南で企画展を開催</li> <li>・R3年度は、嶺南での企画展開催経費の減額(別途予算措置)</li> <li>・R4年度は、企画展の内容に基づく減額</li> <li>・R5年度は、企画展の内容に基づく増額</li> <li>・R6年度は、新幹線開業記念として開催するため増額</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(48,880)	(13,010)	(20,325)	(72,000)	(37,253)			・「ミュシャ展」 22,011人 ・「大どろぼうの家」 12,230人 ・「佐川美術館展」 3,012人		
		実績	39,424	42,772	26,933	77,126						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(4)	(3)	(3)	(4)	(3)					
		実績	4	3	3	4						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価				
「エジプト美術館展」(報道機関との実行委員会形式)の来館者数が目標を大幅に上回った。					広報力のある報道機関と連携した企画展を増やし、来館者数の増加を図る。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
常設展示だけでは伝えきれない一乗谷朝倉氏遺跡の価値や魅力について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 R5:13,772人 R6:25,415人						
[事業目的]												
一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。												
[事業内容]												
(1)夏季特別展「阿波賀～越前一乗の入江、唐人の在所～(仮)」 会 期:令和7年7月19日～8月31日 テーマ:「一乗谷城下町の北の玄関口 阿波賀」												
(2)秋季特別展「一乗谷と刀剣(仮)」 会 期:令和7年10月11日～11月24日 テーマ:「刀剣」												
(3)テーマ展「発掘された中世の越前(仮)」 会 期:令和7年5月24日～6月29日 テーマ:「出土品や調査成果からみる中世越前国の生活文化」												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 13,772人(令和5度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (実績) 開館記念特別展 I (R4.10.1～R5.1.31) 19,616人					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 朝倉氏遺跡博物館調査研究事業 (役割分担) 研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

## 一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催・準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,945			使用料 諸収入 18,891	2,054	使用料17,891千円、諸収入1,000千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				15,615	24,892	20,945	新幹線開業記念特別展の終了に伴う減額					
2月現計予算額の推移				15,615	24,892							
決算額の推移				13,147								
前年度までの 主な増減理由	・R6年度 新幹線開業に伴い企画展の内容充実のため増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)		(8,500)	(47,000)	(56,000)			「阿波賀～越前一乗の入江、唐人の在所～(仮)」(R7.7.19～R7.8.31) 27,700人 「一乗谷と刀剣(仮)」(10/11～11/24) 28,300人			
		実績		13,772	25,415							
活動指標	企画展開催件数	(目標)		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
		実績		2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
新幹線開業を迎え、大河ドラマに関連したテーマを取り扱うなど魅力的な特別展を開催した。				博物館建設地出土品の初公開や、博物館開館後初となる「刀剣」をテーマにした展示など、魅力的な特別展を開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S42 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 一乗谷朝倉氏遺跡は昭和42年以来継続して発掘調査・調査結果に基づく整備事業により、広範囲で本物の遺構を露出展示するなど大きな成果をあげてきたが未解明な点も多く、今後も継続して発掘調査・整備等を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 環境整備済面積:約15ha (特別史跡指定範囲【約278ha】の約6%)						
[事業目的] 全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。												
[事業内容] 「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等を行う。  ○発掘調査事業……学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。 ○復原整備事業……発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。 ○重要文化財保存修理事業……朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存修理を行う。 ○重要文化財追加指定事業……重要文化財の追加指定を目指し、資料集成、調査分析、成果の公開等を行う。												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 978,000人(令和5年実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う。					他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S42 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	145,763	69,447	40,000		36,316	国庫：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助金 起債：公共事業等債、行革債							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		97,590	125,179	292,602	249,678	145,763	研究協議会策定の短期計画に基づく減額						
2月現計予算額の推移		60,270	62,279	203,581	187,298								
決算額の推移		59,963	61,387	203,419									
前年度までの 主な増減理由	協議会にて策定された短期計画に基づき実施												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	報告書刊行数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)			発掘・復元状況の報告書を発行				
		実績	1	1	1	1							
活動指標	発掘・復原面積	(目標)	(321)	(2,250)	(6,540)	(3,550)	(1,150)			研究協議会策定の短期計画に基づく			
		実績	499	2,050	3,100	2,650							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
国庫の内示減により、事業費全体が減少したため、それに伴い発掘・整備面積も減少した				研究協議会にて策定された短期計画に基づき、事業実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体		一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[ 3 楽しみを広げる(創造力) ]		関連する県の計画等		[	]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の観光客に対する受入環境の整備が不十分である。</li> <li>・来訪者の滞在時間を延長させるような、博物館の展示物と連携した新たな体験メニューの提供が必要である。</li> </ul>						一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元:1,095千人 R2:781千人 R3:550千人 R4:823千人 R5:1,047千人						
[事業目的]												
令和2年5年に博物館等文化施設を中核に周辺地域の観光を推進する「文化観光推進法」が施行され、これに併せて創設された国の補助を活用して朝倉氏遺跡の受入環境の整備および誘客を拡大に取り組む。												
[事業内容]												
(1) 便益施設充実 博物館から遺跡までの移動経路途中の場所へのトイレ設置に向けた設計を実施  (2) 交通手段充実 博物館と遺跡を両方見学する来訪者の利便性の向上およびパークアンドバスライドの推進に向けた交通手段の整備												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名									
				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業				
						一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開業に向け、令和2～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行く。						
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。			他県の状況								

# 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		10,000	8,000	8,000	3,664		文化観光推進法に基づく国庫補助事業が令和6年度で終了するため					
2月現計予算額の推移		10,000	8,000	8,000	3,664							
決算額の推移		10,000	8,000	8,000								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館に向け、受入環境整備に係る主な事業は令和3年度に実施したため、令和3年度の予算が増額した。</li> <li>・令和4年度は一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館前の半年で整備できる事業および誘客拡大に向けた事業を実施予定であるため、予算が減額した。</li> <li>・令和6年度は国庫補助事業の対象となる総事業費が減額となるため予算が減額した。</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,100,000)		(1,100,000)	遺跡来訪者110万人/年度を目指す			
	実績	549,582	823,200	1,046,400								
活動指標	観光団体、地元団体、関係事業者との協議回数 (目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(10)	(10)	(10)	協議回数10回を目指す			
	実績	5	5	5								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業による要因 遺跡の発信力の強化やアクセス環境の向上、案内サービスの充実に加え若年層やファミリー層に対する訴求の効果が現れたと考える。</li> <li>・外的要因 北陸新幹線の開業等に伴う認知度の向上により、遺跡来訪者数の伸びに繋がったと考える。</li> </ul>					—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,664	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 新幹線開業を活かした福井の文化財・伝統工芸品の魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]	関連する県の計画等		[ ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井県内には複数の文化施設があるが、立地の問題もあり、連携して福井の文化をアピールする機会がなく、文化施設同士の相互誘客の仕組みが整っていない						文化施設の年間来館者数(R4):456,122人 美術館88,677人、歴博58,997人、若博13,602人、朝博200,000人(年間目標入館者数)、陶芸館・古窯博94,846人(越前陶芸村で開催されたイベント参加者を含む)						
[事業目的]												
美術館、歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、若狭歴史博物館、陶芸館・越前古窯博物館を中心に県内博物館同士が連携した広域広報を展開することで、個々の館の来客層である歴史ファン・美術ファン・クラフトファンをつなぎ、各館相互誘客を促進する。												
[事業内容]												
① 共通観覧券(パスポート)・クーポンの作成により県立5館連携のもと、幅広く、奥深い福井の文化を総合的に没入体験する機会を創出する ② 県立5館の所有する福井の文化財・伝統工芸品の魅力を伝えるPR物や各館営業グッズを作成し、文化財・伝統工芸品の持つストーリーを発信することで、福井の文化の価値を高める ③ 北陸新幹線開業に合わせ、共通観覧券の周知を根幹に置いた県内外にまたがる広域広報を展開する ④ 旅行者による県内博物館・美術館周遊バスツアー運行に対する支援により、市町を超えた博物館同士の連携を強化し、さらに幅広く奥深い福井の文化体験の場を提供する機会を創出する												
[受益者] 県内・県外観光客						[想定される受益者数] 550,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

## 新幹線開業を活かした福井の文化財・伝統工芸品の魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助									経過年数			2 年
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額				(諸収入)		共通観覧券販売料							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				12,395	10,743								
2月現計予算額の推移				12,395	10,743								
決算額の推移				11,292									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度予算にて、共通観覧券の作成を行ったため、共通観覧券の作成費用が不要となった。												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	5館来館者数 (目標) 実績				(550,000)	-			(256,000(美術館・歴博・若博・陶芸館・古窯博R4実績)+200,000(朝博年間来館者目標数))×1.2÷550,000				
活動指標	共通観覧券販売部数 (目標) 実績			(400) 207	(4,600)	-			5,000部(共通観覧券製作部数)÷13カ月(R5,6販売期間)×12カ月(R6販売期間)÷4600部				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・共通観覧券を令和6年3月1日から販売開始 ・各館ミュージアムショップや福井新聞オンラインストア、県内書店等の、取り扱い店舗でのポップの設置や、新聞広告を掲載により広報を実施				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,652		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 新幹線開業時ミュージアム誘客拡大事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、負担金			経過年数									
補助率	-			2 年									
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化芸術・スポーツ力の強化 ]				関連する県の計画等		[ ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた、文化施設における利用者受入環境の整備						文化施設の年間来館者数(R4):361,276人 美術館88,677人、歴博58,997人、若博13,602人、朝博200,000人(年間目標入館者数)							
[事業目的]													
文化施設において、石川県・富山県と足並みを揃えたインバウンド対応を行い、北陸3県にまたがる文化観光ツールを整備する。													
[事業内容]													
・文化施設のインバウンド対応強化事業:文化施設において、石川県・富山県と足並みを揃えたインバウンド対応を行い、北陸3県にまたがる文化観光ツールを整備する。													
[受益者] 各館展覧会観覧者						[想定される受益者数] 234,000人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)	事業名					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 (役割分担)	事業名				
市町との連携状況						他県の状況							

## 新幹線開業時ミュージアム誘客拡大事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				42,124	5,226							
2月現計予算額の推移				42,124	5,226							
決算額の推移				38,165								
前年度までの 主な増減理由	5年度は、新幹線開業記念特別展(6年度実施)の準備事業であったため減 (各館の企画展開催費用は各館企画展事業で計上)											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	文化施設来館者数(4館合 計) (目標) 実績			(361,256) 317,420	(364,226)			(234,000)	美術館89,191、歴博61,536、若博13,499、朝博200,000			
活動指標	企画展開催数 (目標) 実績			(9) 9	(9) 9	(9)		(9)	美術館3本、歴博2本、若博1本、朝博3本(テーマ展含む)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
美術館、歴史博物館、若狭歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館ともに、当初の予定どおりの企画展の準備事業を完了した。				令和6年度の新幹線開業記念特別展が完了したため、各館の企画展開催費用は各館企画展事業に計上				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	24,905	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		